

## 6 作業安全のポイント

農作業安全対策について、紹介します。

いくつかのポイントがありますが、今回は4つのポイントにしぼりました。

### ポイント-1

#### ●取扱説明書を読んでから使用

《なぜ》

1. 機能を十分に使いこなすためにも、機械を使用する前には、必ず取扱説明書を読みましょう。
2. 農業機械は、年中使わないので、使用方法を忘れがちです。

《対策ポイント》

1. 販売店からの引渡し時には、機械の操作、安全装備等について十分に説明を受けます。
2. シーズン前には、取扱説明書を良く読んで機械を点検整備するとともに、使用方法を確認します。
3. 取扱説明書は、保管場所を決め、いつでも取り出して読めるようにします。

《追加のヒント》

1. 頻繁に読む部分をコピーして機械にぶら下げておくのも有効です。
2. 他人に機械を貸す時には、適切な整備を行い、使用方法、安全上の注意を十分に説明するとともに、取扱説明書の熟読を指示します。
3. 操作方法を知らない補助者は、思わぬ動きをして危険なことがあるので作業前に注意します。
4. 万が一に備えて、機械の停止方法は家族にも教えておきます。
5. 運転日誌を用意したり、メモ用紙を携帯し気付いたことを書き留めたりします。

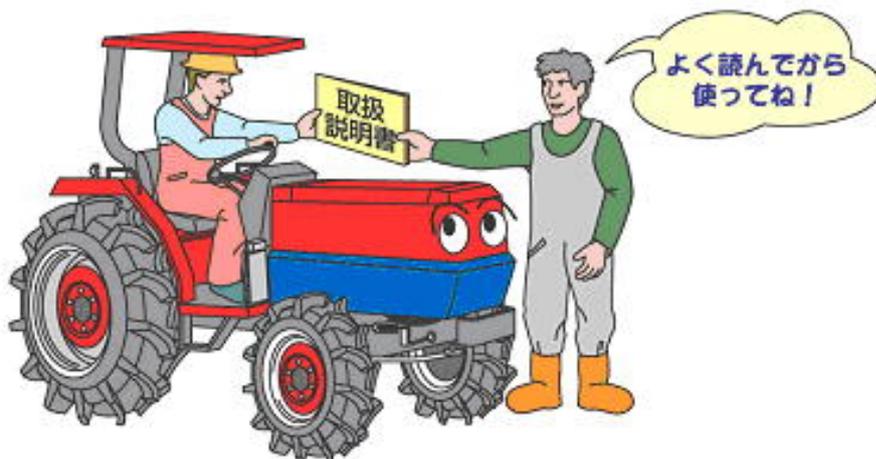


図 他人に貸す時には、取扱説明書の熟読を指示します。

《ヒヤリ、事故》

1. 作業機を取り付け中に、トラクタと作業機の間にはさまれそうになった。近くにいた妻がエンジンを止めてくれたので大事には至らなかった。妻へ操作方法を教えていたので助かった。
2. トレーラにトラクタを積込んでいる時に、おばあさんがトレーラの泥を取ろうとしたらしく、急に近づいてトレーラの下にもぐりこんだ。あわてて止めてトレーラに挟まれるのを防いだ。
3. 田植え作業中、子供が田植機のかたわらを歩いていたが、足をすべらせ転び、田植機の爪で手を負傷した。

## ポイント-2

### ●危険を予測しよう

《なぜ》

1. ことわざに「他人の振り見て我が振りなおせ」とあるように、他人のことはよく気付く半面、自分のことはなかなか気付かないものです。
2. 「危険予知訓練とは、作業前に作業現場をイメージし、危険要因を予測することによって、実際に似たような場面に遭遇しても危険を回避できるという訓練手法です。

《対策ポイント》

1. 実際に危険予知訓練をしてみましょう。下の写真を見て、以下の点について、1つずつ思い当たることを挙げてみましょう。  
1)注意すべき点 2)改善すべき点 3)改善方法

写真1 コンバインのカッタへ詰まったワラを取り除こうとしています。



- 1)注意すべき点:エンジン・クラッチを切っていないと突然動き手首等を切断する恐れがある。
- 2)改善すべき点:エンジン・クラッチは切って取り除き作業にあたりましょう。

写真2 中耕除草機が枕時で旋回しようとしています。



- 1)注意すべき点:足下に作業のため取り外した機械や岩等があり、転倒する恐れがある。
- 2)改善すべき点:旋回時、高速で旋回することは禁物です。ゆっくり、余裕をもって行いましょう。

これらに加え、良い点も挙げてみましょう。

《追加のヒント》

近所や家族とヒヤリ体験等話し合ってみましょう。

### ポイント-3

#### ●路肩に気をつけよう

《なぜ》

1. 農業機械の転倒、転落による死亡事故は、年間90～120件で、そのほとんどが圃場や農道発生しています。

《対策ポイント》

1. 路肩が分るように、草刈りしたり、目印を立てたりします。
2. 前後輪の内輪差を考えて、カーブを曲がります。
3. 圃場の出入口の傾斜方向に対し平行に進入します。

《追加のヒント》

1. 作業時以外は左右ブレーキを連結します。
2. 万が一に備えて、トラクタへ安全フレーム、キャブを装着します。



図1 路肩が分るように、常時草刈り実施。



図2 圃場出入り口の斜面が削れ丸くなっていると車輪が浮きとても危険です。

## ポイント4

### ●機械からの転落を防ごう

#### 《なぜ》

1. 機械等からの転落事故が多数発生しており、注意が必要です。
2. 転落の原因は、「滑った。」、「足場や手がかりが壊れた。」、「振り落とされた。」、「大丈夫と思って飛び降りた。」等です。

#### 《対策ポイント》

1. 機械と向かい合った状態で乗り降りします。(機械に背を向けて乗り降りしません。)
2. 物を手に抱えたまま乗り降りしません。
3. 靴やステップの泥は取り除きます。
4. 飛び乗り、飛び降りはしません。
5. クローラトラクタ等で乗り降りする時には、クローラへ足を掛けないようにします。

#### 《追加のヒント》

1. 乗車位置以外の場所へ人を乗せません。特に、バランス・ウエイトの代わりに人を載せません。



バランス・ウエイトの代わりに機械へ人を乗せると振り落とされるおそれがあります。

#### 《ヒヤリ、事故》

1. コンバインがオーバーヒートしたため、機械の上に上がってラジエータを掃除した。降りる時に滑って転落した。
2. 稲収穫後、圃場から出て移動のためにコンバインをトラックに積込んだ。トラックから降りる時、靴の裏に付着した泥のためステップを踏んだ時に滑り落ちた。
3. トラクタにトレーラを装着し、糞運搬した際、トレーラへ妻を載せていたが、U字溝にはまりそうになり、妻を落しそうになった。
4. 軽油を補給するためにトラクタのクローラ上を移動し転落。右膝のじん帯を傷めた。
5. トラクタ作業機を移動させて必要な作業機を取付けるため格納庫に保管してある作業機を出し入れしていた。トラクタから降りるとき足を踏みはずし転落した。